

千代田フィルハーモニー管弦楽団 第52回定期演奏会

4 | 1 | 1 SUN

〈指揮〉夏田 昌和

2010年4月11日(日)

14:00開演 (13:30開場)

紀尾井ホール

1,000円 (全自由席)

「人間の心の深奥へと光を送ること、
——これこそが芸術家の使命である」
シューマン

NATSUMI NAKAZAKI CONDUCTING CHIYODA PHILHARMONIC ORCHESTRA

"SLAVONIC MARCH OP.31" PETER I. TCHAIKOVSKY
"MASQUERADE - SUITE" ARAM I. KHACHATURIAN
"SYMPHONY NO.2 IN C MAJOR OP.61" ROBERT A. SCHUMANN

ニョートル I. チャイコフスキー
スラヴ行進曲 作品31
アラム I. ハチャトゥリアン
組曲「仮面舞踏会」
ロベルト A. シューマン
交響曲 第2番 ハ長調 作品61

【主催】千代田フィルハーモニー管弦楽団 【後援】千代田区文化芸術協会

第52回定期演奏会では、春の息吹を感じる瑞々しい演奏をお届けしたいと思います。
満開の桜並木の中、紀尾井ホールへぜひお越しください。

指揮 夏田昌和

東京都出身。東京藝術大学大学院修了後、パリ国立高等音楽院作曲科を満場一致の首席一等賞を得て卒業。作曲を永富正之、野田輝行、近藤譲、Gerard Grisey、指揮を秋山和慶、Jean-Sebastien Bereau の各氏に学ぶ。出光音楽賞、芥川作曲賞、Goffredo Petrassi国際作曲コンクール審査員特別表彰、フダサオ・オリエンテ国際指揮者コンクール第3位を初め、作曲と指揮の両分野での受賞や入選多数。フランス文化省やEnsemble Intercontemporain、サントリー音楽財団他より多くの作品委嘱を受け、作品は東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、Dutch Radio Symphony Orchestra、Berlin Symphony Orchestraを初めとした内外の著名なオーケストラやアンサンブル、ソリストによって広く演奏されている。指揮者としては20世紀作品の優れた解釈者として、アンサンブル・コンテンポラリーαやアンサンブル・ヴィーヴォ、アール・レスピラン、アンサンブル・ボアといった諸団体を指揮、海外現代作品の日本初演を含む紹介と、邦人作品の世界初演に数多く携わっている。またアマチュア・オーケストラへの客演も多く、更に首都圏の主要な音楽大学において、学生を中心としたオーケストラやアンサンブルの指揮と指導にも熱心に取り組んでいる。国立音楽大学准教授、東京藝術大学、桐朋学園大学、日本大学芸術学部非常勤講師。
日本現代音楽協会理事。









JR線・丸ノ内線・南北線「四ツ谷」麹町口より 徒歩6分
有楽町線「麹町」2番出口より 徒歩8分
銀座線・丸ノ内線「赤坂見附」D出口より 徒歩8分
半蔵門線・有楽町線「永田町」7番出口より 徒歩8分

千代田フィルハーモニー管弦楽団

千代田フィルハーモニー管弦楽団は、1976年、千代田区郷土の会会長(故)緒方孝太郎氏が千代田区の文化芸術の更なる発展のため、オーケストラ設立を提唱し、井上眼科病院院長(故)井上正澄氏を団長として発足しました。毎週土曜日の練習を基本とし、演奏活動は今春52回目を迎えた自主公演の「定期演奏会」のほか、千代田区主催「サマーコンサート」、千代田区生涯学習事業「日曜青年教室鑑賞会」、千代田区文化芸術の秋「オーケストラフェスティバル」への参加や、千代田区文化芸術協会主催「サロンコンサート」「千代田の杜コンサート」など、千代田区と密接に関わりながら活動を行っています。これからもなお一層、区民をはじめ多くの方々に親しまれるオーケストラを目指していきたいと思っています。

<http://www.chiyodaphilharmonic.org>

千代田フィル情報部広報担当
お問合せ先 Eメール: cpo_info@chiyodaphilharmonic.org
F A X : 03(3851)8437



※車椅子をご希望の方は、事前に上記 Eメールアドレスへご連絡ください。